

セルビブリオ・ジャポニクス由来のアセチルキシランエステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1194

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、アセチルキシランエステラーゼ（EC 3.1.1.72）は、キシランおよびキシロオリゴ糖の脱アセチル化という化学反応を触媒する酵素です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

別名 アセチルキシランエステラーゼ; EC 3.1.1.72; 188959-24-2; 9000-82-2

製品情報

由来 セルビブリオ・ジャポニクス NCIMB 10462

形態 3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます

EC番号 EC 3.1.1.72

CAS登録番号 188959-24-2; 9000-82-2

分子量 39090.9 Da

純度 > SDS-PAGEによる判断で95%

活性 410.0 U/mg

濃度 1845.2 U/ml

最適pH 8.5

単位定義 1単位は、pH 8.5および25°Cで、0.1 M HEPESバッファー（pH 8.5）中で、400 nmで測定し、消光係数18000 M⁻¹cm⁻¹を使用して、pNP-アセテート（0.27 mM）から1マイクロモルのpNPを1分あたり放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください（常温で発送されます）